

042

自分で考え、行動する「アクティブ防災」事業

取組主体

特定非営利活動法人 MAMA-PLUG

従業員数

5 人

想定災害

地震等

実施地域

東京都

- 主に幼い子どもを持つ家庭の体験談を元に、自ら考え、自ら行動する「アクティブ防災」を啓発するため、講座の開講や書籍の出版等を実施。

1 取組の特徴（はじめたきっかけ、狙い、効果、工夫した点、苦労した点）

思わず取り組みたくなる防災術を提案

- 特定非営利活動法人 MAMA-PLUG（ママ・プラグ）は、重要だと分かっているが、なかなか行動に移すことができない防災について、「楽しく学び、賢く備え、自分で考え行動できる防災を！」をモットーに、子育て世代のライフスタイルを考慮した、積極的に取り入れたいくなる防災術や、防災に関する課題解決をテーマとした企画を提案している。
- 特に、普段子育てと仕事の両立に忙しい世代の中には、「防災の必要性は理解しているけれども、取り組んでいない」人が多いという現状がある。そこで、お弁当の代わりに非常食を持っていく「防災ピクニック」や、家族で行う「防災会議」等、日常生活の延長で負担を感じずに取り組むことのできる防災術を伝えるため、年間 100 件以上のペースで、全国各地の自治体、教育機関、企業等で「アクティブ防災」講座を開講し、取組を広げている。
- 同講座では、ファシリテーターに子育て中の母親を起用し、グループワークを取り入れた内容を基本としながら、「日常生活の延長での防災」「今からできる防災」「習慣になる防災」を広く啓発している。
- また、同講座を通して対面で啓発するだけでなく、帰宅後も繰り返し「アクティブ防災」に触れる機会をもってもらうため、書籍・SNS・メディア掲載等を通じて継続的に活動を行っている。平成 31 年 3 月には、地震や水害、台風等で被災した父親や母親 1,223 人の体験談をもとに、幼い子どもがいる家庭に必要な備えを解説する「全災害対応！子連れ防災 BOOK」を出版した。同書は、各家庭で災害時にどうやって身を守ったか、何に困り、何が役立ったかなど、被災者の生の声を収録しており、子どものいる家庭にとって役立つ内容となっている。

全災害対応！

子連れ防災 BOOK

1223人の被災ママパパと作りました

NPO法人ママプラグ



イラストが豊富で、楽しく防災力を身につけることができる書籍

2 現状の課題・今後の展開等

- 同法人は、ファシリテーターとして自身が居住する地域で活動するメンバーを創出すべく、「ファシリテーター養成講座」を開催している。人材を増やし、全国各地で「アクティブ防災」の理念を伝える環境を整備したいと考えている。

担当者の声

- 日本に住む限り防災を意識しなければいけないとはいえ、仕事や子育てをしていると、「災害時」という想定外の環境を想像して備えるというのは非常に困難です。しかし、楽しいことであれば、時間を割きたくなるし体も動くはず。だからこそ、防災のアクティブで「楽しい」側面を広げていければと思って活動しています。

問合せ先

特定非営利活動法人 MAMA-PLUG TEL : 03-6869-1666 E-Mail : info@npo-mplug.com